

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年度

事業所名 リバーサポートセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		個別支援の為多くを配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		階段の上り下りは職員が付き添っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所内のミーティングは毎日、全体的な会議は週に1度おこなっている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		頂いたご意見を参考に改良に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月一回の内部研修の他、外部研修にも積極的に参加している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一度の事業所内相談にて話し合いを行い、それに沿って計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各児童に合った支援教材選びのほか、手作り冊子などアイデアを出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			日々のミーティングの中で利用者の変化なども話し合い、適切な支援方法を話し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休みでは普段はできないことに挑戦できるようオリジナルの支援教材を作っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動の支援なので集団活動計画の予定はなし。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日のミーティングを行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日のミーティングを行っている	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別にその日の様子を記録している。		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			半年に一度個別支援計画を作成している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者 との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			管理者と、担当者、関わりがあるものを集めて会議している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			保護者からの希望に応じ、学校担任や校長、教頭と話し合う場を設け連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な利用者は現在いないが、体制は整っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			現在行っていないが必要に応じて情報共有をする体制を整えている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在行っていないが必要に応じて情報共有をする体制を整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			現在行っていないが必要に応じて情報共有をする体制を整えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		検定受検の時に機会がある。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		淀川区子ども支援部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回の連絡帳や事業所内相談の実施、必要な時は電話連絡なども使っている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		送迎のある利用者に対しては事業所内相談でP.T支援を実施している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		事業所内に設置し、契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談、電話対応で実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		個別支援を行っており保護者同士の連絡は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情マニュアルの作成、苦情の窓口を設けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎回の連絡帳で支援内容を共有出来ている。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き倉庫で保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		検定試験は一般募集もしている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	いつでも閲覧できるように事業所内に設置している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に防災訓練を実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	年に2回の研修を計画、実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	該当する利用者はいないが、内部研修やミーティングを実施している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	軽飲食持参の利用者には注意している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	事業所内に配置している。	